進めてます！自己改革



私たちは、平成28年度から農家・組合員や地域の方々の豊かなくらしを支えるため、**「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」**の3つの目標を掲げ、具体的な目標値や行動計画を設定して、自己改革に取り組んでいます。
本年度においても、組合員・地域住民の声に基づく自己改革を実践し、農業協同組合の使命である農業所得の向上や地域農業の振興、さらには、地域に根ざした協同組合として「食」と「農」を通じた地域貢献活動に取り組んでいきます。

JAからつが取り組んでいる自己改革の一部を紹介します。

畜産部

和牛受精卵移植（ET）事業について

子牛生産基盤の維持・拡大、農家所得向上に向けた取り組み

●和牛子牛生産頭数の拡大について



現在、県内では畜産農家の高齢化により生産戸数、子牛頭数が減少傾向にあります。また、優良な種雄牛の精液は全国から引き合いが強く高額であり入手困難な状況です。

そうした中、畜産部では全農ＥＴ研究所の協力のもと、管内の和牛・乳牛・交雑種に和牛受精卵を移植し、子牛頭数の生産拡大に取り組んでいます。令和6年度は、共済組合とも連携し10回実施しました。（当初計画より3回増）このような取り組みを行うことで、畜産農家は優良な血統の子牛生産が可能となり、所得増大へとつながっています。

今後も、畜産部では日頃の巡回や畜産座談会等において推進活動に努めます。

●和牛受精卵移植の取り組み結果 【令和6年度の実績】

	R5年度(5回実施)	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.3月	計	備考
移植頭数	438	65	49	79	56	75	115	91	121	74	69	794	R7.3月末
受胎頭数	206	35	27	44	20	26	60	43	46	未確定		301	R6.12月末
受胎率	47%	54%	55%	56%	36%	35%	52%	47%	38%			46%	R6.12月末
出生頭数	195	31	13	まだ出生していないためデータなし								44	R6.5月末
出生率	95%	89%	48%									71%	R6.5月末

※令和6年度の未経産への移植による受胎率は66%となりました。